

【MACF 礼拝説教要旨】

2022年5月1日

「わたしにつまづかない人は幸い」

ルカによる福音書 7章 18節～23節

7:18 ヨハネの弟子たちが、これらすべてのことについてヨハネに知らせた。そこで、ヨハネは弟子の中から二人を呼んで、

7:19 主のもとに送り、こう言わせた。「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。」

7:20 二人はイエスのもとに来て言った。「わたしたちは洗礼者ヨハネからの使いの者ですが、『来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか』とお尋ねするようにとのことです。」

7:21 そのとき、イエスは病気や苦しみや悪霊に悩んでいる多くの人々をいやし、大勢の盲人を見えるようにしておられた。

7:22 それで、二人にこうお答えになった。「行って、見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。

7:23 わたしにつまづかない人は幸いである。」

洗礼者ヨハネはイエス様に洗礼を授けた人です。そして大勢の人たち、一般人から宗教者たちまでが彼のところにやってきて洗礼を受けました。しかし、ヨハネはヘロデ王から恨みを買って投獄されていました。最終的には悲劇的な死を遂げることとなります。

マタイによる福音書にその顛末が記録されています。

14:1 そのころ、領主ヘロデはイエスの評判を聞き、

14:2 家来たちにこう言った。「あれは洗礼者ヨハネだ。死者の中から生き返ったのだ。だから、奇跡を行う力が彼に働いている。」

14:3 実はヘロデは、自分の兄弟フィリポの妻ヘロディアのことでヨハネを捕らえて縛り、牢に入れていた。

14:4 ヨハネが、「あの女と結婚することは律法で許されていない」とヘロデに言ったからである。

14:5 ヘロデはヨハネを殺そうと思っていたが、民衆を恐れた。人々がヨハネを預言者と思っていたからである。

14:6 ところが、ヘロデの誕生日にヘロディアの娘が、皆の前で踊りをおどり、ヘロデを喜ばせた。

14:7 それで彼は娘に、「願うものは何でもやろう」と誓って約束した。

14:8 すると、娘は母親に唆されて、「洗礼者ヨハネの首を盆に載せて、この場でください」と言った。

14:9 王は心を痛めたが、誓ったことではあるし、また客の手前、それを与えるように命じ、

14:10 人を遣わして、牢の中でヨハネの首をはねさせた。

14:11 その首は盆に載せて運ばれ、少女に渡り、少女はそれを母親に持って行った。

14:12 それから、ヨハネの弟子たちが来て、遺体を引き取って葬り、イエスのところに行って報告した。

14:13 イエスはこれを聞くと、舟に乗ってそこを去り、ひとり人里離れた所に退かれた。しかし、群衆はそのことを聞き、方々の町から歩いて後を追った。

**

洗礼者ヨハネは「正しいことを正しい、間違っていることは間違っている」と恐れずに語った人でした。しかし、それは王の怒りを駆り立てました。憎まれ、殺される事になりました。

そういう自分の最後について知る由もないヨハネが「イエス様について、あなたは救い主なのです

か」と問うのは人間的にはきわめて自然なことだ
と思います。自分は正しいことを語り、神に託さ
れた役割を果たしているが投獄されている。

何という理不尽。

救い主は私のことを助けてくださるのか、それと
も……。果たしてイエスは救い主なのか……。
様々な疑問が湧いてきて当然だと思います。

ヨハネはイエス様に単刀直入に弟子たちを遣わし
て尋ねます。

「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、
ほかの方を待たなければなりませんか。」

イエス様はそれに対して現状報告をなさいます。

7:21 そのとき、イエスは病気や苦しみや悪霊に
悩んでいる多くの人々をいやし、大勢の盲人を見
えるようにしておられた。

7:22 それで、二人にこうお答えになった。「行っ
て、見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。目の
見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い
皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえな
い人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音
を告げ知らされている。

つまり、神のみわざは行われており、様々な形で
の解法がもたらされていると伝えたのです。私こ
そ、救い主だという宣言と理解することができます。

しかし、今朝、考えたいのはその後の言葉です。

7:23 わたしにつまずかない人は幸いである。

1) つまづき

「つまづく」という場合、大きな岩にはつまづき
ません。大きな岩には「ぶつかる」と言います。つ
まづくというのは、小さなもの、見過ごしてしま
いそうな小さなものが原因です。また、関係的な
ことを言えば「こちらの側の心の持ち方ひとつ」
で決まります。

2) イエス様につまづく？

神の業としての奇跡、癒やし、解放がもたらされ
た時、当事者は感謝しますが、たまたまそこにい
られなかった人、これなかった人、触れなかった
人たちは「つまづく」ことがあります。「なぜ、私
じゃないのか。」「なぜあそこの場所でなされ、こ
こではないのか」

また、その教えに躓いたという記述は聖書のあち
こちに出てきます。

イエス様が説教をなさるたびに宗教家たちはつま
づきました。「まだ30才そこそこの若造に何が
わかるというのか」「あんなひどいこと、今までの
教えと違うような内容をなぜ、あんなに大胆に語
れるのか」などなど。

自分の理解を越えていること、自分の常識を越え
ていること、自分に直接的な利益が生じないこと
などについて、わたしたちはひがんだり、妬んだり、
批判したりしながらつまづき、離れていく傾向
があるのです。

3) 私に躓かないものは・・・

イエス様の働きが自分に対する直接的な利益をも
たらさないということで腹を立てる人がいても、
それ自体は人間の感情的な好き嫌いの範疇なのだ
と思います。それは感情的な反応ですから、つま
づき、まではいってないかもしれません。

しかし、「イエス様を否定し、拒否してしまう」こ
とになると、大きな問題となってきます。

それ以後、イエス様の教えも恵みも心に入りにく
くなってしまうからです。

イエス様ご自身にそっぽを向いてしまうことは気
をつけなければなりません。

それはある意味で「こちらの側の心の整え」が求
められていると言えるかもしれません。

イエス様の行いと言葉、その存在、主権、救い主と
いう出来事に目と耳を閉じてしまわないようにす
る努力は必要です。

聖霊はまさに、そのためにこそ、遣わされている
と考えることができるかもしれません。

洗礼者ヨハネにとって、イエス様の祝福あふれる
神のみわざの表明は「壁の向こうの出来事」であ
り、心でそれを喜んでも実体験として、自分の出
来事としてなかなか伝わって来ないジレンマがあ
ったと思うのです。

でも、イエス様につまずかない、という姿勢は「自
分に直接的な利益があってもなくても関係なく、
イエス様の出来事を歓迎し、受け止め、神に感謝
する」という姿勢を保つ中で身についてくるもの
です。

世界を少し、自分と自分の外に向ける必要があり
ます。

誰かに起こった神の祝福とめぐみの出来事を、我
がことのように感謝する心が育つ時、「つまずき」
のハードルは消えていきます。

自分以外の誰かにもたらされた神の恵みと祝福の
情報について、心から「よかったですね」「おめで
とう」「うれしいですね」と思えること、
伝えることができる時「つまずきの心」のハー
ドルは下がっています。

イエス様を十字架に向かわせた群衆や宗教者の心
の中の重大、深刻な問題は「イエス様につまずい
た」ということが発端でした。

彼らはイエス様を政治的指導者にしようと考えたり、
自分たちの部下になって自分たちのための宗
教活動を支援してくれることを内心考えていたり
したでしょう。

でも、イエス様には独自の、神様から託された道
がありました。

それはイエス様ご自身の言葉と出来事、行動をと
おして神様の愛を表明し
それを分かち合い、それで人に希望をもたらすこ
とでした。

父なる神様の心にしっかり向き合いながら生きる
ことを励ましたのです。

貧富の差や社会的格差、宗教的伝統などに固執す
ることを止め、ただ自らを神の愛の光の中に置いて、
神の恵みを受けながら生きるように勧めたの
です。

でも、それは大きなつまずきを生み出しました。
人間の作った伝統、誰かの上に立ちたいプライド、
自分が褒められたい感情、若いイエスになど教わ
りたくないプライドからくる嫌悪感など、すべて
がイエス様につまずかせるための小さな石となり
ました。

でも、それは神様の恵みを遮断し、神様の愛を切り
捨て、自らの首を締めるような愚かな出来事へ
の布石になりました。

まず、イエス様から表明されている神様の普遍的
な愛を信頼しましょう。

神様は善人にも悪人にも太陽を昇らせ、雨を降ら
せてくださいます。

もうこの段階で「面白くない」と反発される方も
おられるかもしれません。

それを躓きの石にしないように気をつけてくださ
い。あなたも、神の恵みの対象のひとりなので
から。

あなた以外の誰かのために「祝福がありますよう
に」と祈ってみてください。

ひがみや、軽蔑は、上から目線、は、つまずきの石
になる可能性がありますから。

そして、静かにイエス様、感謝します。と呼吸に合
わせて「吸いながら、イエス様」と心に語り、「吐
き出しながら、感謝します」というふうによく
呼吸をしてみてください。

心が穏やかになればと思います。

自分では気づかないほど比較的小さな、「心のプ
ライド」がつまずきの石になってしまうことが圧
倒的に多いのです。

イエス様の言葉をしっかり心に収めましょう。

ルカによる福音書 7章 22～23 節

「目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、
重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。

わたしにつまずかない人は幸いである。」

*5 月生まれの皆さま、お誕生日おめでとうございます。
祝福が豊かにありますように、心からお祈りします。

*今週の金曜日はバイブルワークショップ&
メディテーションが開催されます。Zoom 開催です。

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/A0I5wjhT2fs>